

# 目次

口絵	
序	
凡例	
総合解説	1
第一章 非領国地域としての三河	13
第一節 錯綜する領主支配	14
所領宛行と三河代官／所替えと村替え／支配替え	
第二節 領主関係の諸相	62
争論への対応／本家と分家／協調と反目	
第三節 三河国の広域支配	95
分担管理／危機への対応と「御同国」意識／幕府・代官による広域支配	
第二章 個別支配の構造と特質	133
第一節 支配機構・家臣団	134
家中統制／役務／江戸屋敷／江戸奉公人	
第二節 武家の女性	164
奥とその運営／女奉公人／結婚と出産	

第三節	領知経営	184
	触書／陣屋の職務／領主と領民	
第三章	領主財政と支配	231
第一節	領主財政	232
	年貢収納／財政運営／財政改革／資金調達と御用達	
第二節	災害・飢饉への対応	304
	地震・風水害・火災／飢饉	
第四章	幕府・朝廷と三河諸領主	345
第一節	幕政への関与	346
第二節	江戸と国元	383
	在府中の動き／幕府役人の派遣／居城	
第三節	幕府勤役	427
	参勤交代／役と勤役／供奉	
第四節	朝廷との関わり	448
第五章	身分・格式と由緒	455
第一節	家の歴史	456
	由緒と三河／幕府編纂事業への対応	

第二節	家政と家格	482
家の存続／家格		
第三節	武士身分とその周辺	518
家臣の由緒と格式／支配の末端をになう人々		
第六章	武士の生活・文化	549
第一節	年中行事	550
第二節	規律と交際	604
規律／贈答／接待／道具		
第三節	藩校	628
第四節	生活	631
暮らし／武芸／芸能		
第七章	寺社と領主	653
第一節	武家の菩提寺	654
徳川氏の菩提寺／諸武家の菩提寺		
第二節	地域秩序と寺社	687
秩序の模索と形成／寺社領朱印をめぐる動向／寺社領主の諸相		
第三節	地域外世界との交流	724
朝廷・本山・本所の存在／近江永源寺の三河甘泉寺支配		

第八章 幕末維新と三河諸領主	763
第一節 幕末維新の動乱と三河諸領主	764
異国船への対応／戊辰戦争と王政復古／勤王誘引への対応／ 尾張藩の記録にみる三河の動向	
第二節 明治政府と三河諸領主	832
所領替えと三河定住／明治政府への対応と版籍奉還／明治初期の三河諸藩政	
解説	875
あとがき	961
執筆分担	964
資料提供者及び協力者	965
愛知県史編さん関係者名簿	967
藩主一覧	985
資料群別掲載史料一覧	989

# 細目次

## 第一章 非領国地域としての三河

### 第一節 錯綜する領主支配

#### 一 所領実行と三河代官

1	鈴木八右衛門重直知行宛行状写（慶長六年二月）……………	14	14
2	戸田尊次田原入封につき知行宛行状写（慶長六年三月）……………	14	14
3	松平乗次知行目録写（慶長六年十一月）……………	16	16
4	榊原元義知行宛行状写（慶長八年十月）……………	16	16
5	西尾二万石拝領につき松平成重宛板倉勝重ら連署奉書 （元和三年八月）……………	17	17
6	松平忠利死去に伴い水野忠清吉田拝領につき土佐藩山内忠直 より書状（寛永九年八月）……………	17	17
7	松平定政刈谷へ所替えの旨披露につき土佐藩山内忠豊より書 状（慶安二年二月）……………	18	18
8	三河代官彦坂九兵衛光正より橋尾孫右衛門宛百姓役定書写 （慶長十年三月）……………	18	18
9	宝飯郡北岡新田村分村につき三河代官安藤弥兵衛次吉より同 郡長山村宛申渡し書（寛永七年十一月）……………	19	19
10	三宅康勝田原入封に伴い城付となる渥美郡宇津江村の高分け につき申上げ書写（寛文四年六月）……………	19	19
11	本多忠良刈谷入封につき阿部家よりの引継ぎ事項書上げ （宝永七年五月）……………	22	22
12	刈谷引渡しにつき三浦家よりの問合せに対する本多家返答書 （正徳二年）……………	28	28
13	西尾城引渡しにつき土井家より幕府上使宛返答書写（抄） （延享四年三月・五月）……………	30	30
14	刈谷より西尾へ移封に際しての三浦家中宛指示書 （延享四年）……………	36	36
15	献上塩鮎の製法につき本多家より内藤家への引継書 （寛延二年五月）……………	37	37
16	私領へ変更しがたきにつき碧海郡大浜村より赤坂代官所宛上 申書写（寛延三年正月）……………	38	38
17	挙母築城に伴う替地として加茂郡福谷村受取に関する内藤家 の記録（寛延三年六月から七月）……………	39	39
18	挙母藩内藤家上知の替地として加茂郡四か村受取に関する記 録（安永七年五月）……………	43	43
19	上知につき幕府勘定方より形原陣屋旗本巨勢至親宛仰せ渡し 書写（天明二年四月）……………	44	44
20	吉田藩松平家所替えの風聞に対しこれまで通りの支配を望む 領分村々より願書写（天明八年二月）……………	45	45
21	年貢等上納につき旧遠江相良藩領村々より島田代官所宛返答 書写（抄）（天明八年八月）……………	46	46
22	拝領村々の様子につき陸奥福島藩士より貝吹陣屋役人宛書状 （寛政四年七月）……………	50	50
23	旗本岡部家蔵米取となるため年貢米取扱いにつき尾花陣屋役 人より書状下書（文化九年十一月）……………	51	51
24	中泉代官所管轄となる風聞に対し赤坂役所管轄の継続を望む 幕府領村々より願書控（元治元年四月）……………	53	53
25	支配代官等書上げ……………	55	55
26	二川陣屋設置を求める設楽郡ほか幕府領村々より島田代官所 宛願書写（安永四年五月）……………	55	55
27	赤坂代官交替の風聞につき書状（寛政元年三月）……………	56	56
28	設楽郡田口一〇か村支配変遷の記録（文久元年）……………	57	57
29	中泉代官赤坂陣屋へ入陣につき廻状写（丑九月）……………	61	61

第二節 領主関係の諸相

一 争論への対応

30 渥美郡高木村と古田村の境界争論につき内済証文写  
（寛永五年二月）……………62

31 雁峯山への入山を求める設楽郡村々より幕府大目付加賀爪忠澄宛願書写（寛永十六年四月）……………62

32 三河代官鈴木八右衛門隆政の山出入り内済無効を求める作手村ほかより言上書控（寛永十六年六月）……………63

33 刈谷藩領設楽郡黒坂村との中河内を廻る争論につき同郡草谷村ほかより訴状写（寛永二十一年二月）……………64

34 幡豆郡桐山村と同郡須美村の山論につき三河代官鳥山牛之助精明らによる裁許状写（寛文元年十月）……………65

35 鏡池を廻る幡豆郡岡山村と同郡瀬戸村の争論裁許絵図裏書（寛文十年十一月）……………66

36 美濃大垣新田藩との貝之浜を廻る争論に関する下永良陣屋旗本諏訪家の交渉の記録（文政七年）……………67

37 岡崎藩水野家所替えに伴う旗本水野家知行所支配につき申渡し書写（宝暦十三年から明和四年）……………70

38 旗本水野家知行所碧海郡東本郷村分郷の裁許についての記録（文政七年九月）……………74

39 武蔵岡部藩安部家分家領民の不行跡赦免を本家に求める願書写（安永三年十月）……………76

40 西端陣屋旗本本多家知行所庄屋不正につき本家近江膳所藩奉行所宛内済証文写（安政二年六月）……………77

41 三協調と反目

42 殺生実施につき大崎陣屋交替寄合中島重貞より深溝陣屋旗本板倉家役人宛書状（十一月）……………79

42 公儀の者の紛れ込みを知らせる中島重祐より深溝陣屋旗本板倉家役人宛書状（十一月）……………79

43 刈谷藩領碧海郡井ヶ谷村で尾張藩鷹匠の鷹が傷んだ際の処理一件記録（元文二年八月）……………79

44 尾張藩主徳川宗勝初回国の際における刈谷藩三浦家よりの音物進呈の記録（元文四年五月）……………80

45 肥物代金未払い出入り内済につき尾張藩鳴海代官手代より大浜陣屋役人宛書状（嘉永七年閏七月）……………81

46 池鯉鮒宿乱心者一件に関する刈谷藩三浦家の記録（元文三年四月から七月）……………81

47 出火の際の領民および他領民の西尾城外郭御門通行につき寛書（寛延元年十一月）……………83

48 須美川川浚えにつき尾花陣屋旗本岡部家役人より報告書下書（文化九年正月・二月）……………84

49 新堤築立についての福島藩重原陣屋と刈谷藩の交渉記録（抄）（文化十三年六月から同十四年二月）……………86

50 宝飯郡市田村内入会地での死人の内検依頼につき御馬陣屋旗本岡部家より返書写（文政十年七月）……………90

51 第二次長州戦争御進発に関する九久平陣屋旗本鈴木家役人の記録（慶応元年五月・閏五月）……………91

第三節 三河国の広域支配

一 分担管理

52 三河国絵図作成につき岡崎藩水野忠益家臣より交代寄合松平郷松平家宛書状写（元禄十一年八月）……………95

53 三河と遠江国境につき八名郡上吉田村ほかより岡崎藩水野忠之家臣宛回答書控（元禄十三年六月）……………95

54 東三河から出る女関所手形ほかの発給元仰せ付けられるにつき刈谷藩三浦家留書（正徳三年四月）……………96

55 今切・気賀・福島関所手形発給に関する規定書写（抄）（延享元年八月）……………97

56 女関所手形発給元を岡崎藩本多家より刈谷藩土井家へ変更するにつき仰せ渡し書写（安政四年九月）……………98

71	段戸山商人請負の伐木払下げにつき遠江河合代官より入札案内書写(元禄十六年三月)……………	119
70	東広瀬分一番所請負金につき遠江河合代官より入札案内書写(元禄十五年十一月)……………	119
69	赤坂役所の要請により領内の穀留実施につき新城陣屋交代寄合菅沼家より触書写(安政七年三月)……………	118
68	赤坂役所の要請により領内の穀留実施につき新城陣屋交代寄合菅沼家より触書写(安政七年三月)……………	118
67	惣代をもつて嵯峨法輪寺勸化取り集めをする旨幕府領および旗本知行所宛触状写(寛政十年三月)……………	117
66	朝鮮通信使通行時の負担につき深溝陣屋旗本板倉家役人より赤坂代官所宛届書写(宝永七年十月)……………	116
65	公儀調停による山境確定につき設楽郡大石村と葛山村による取り交わし証文写(明暦二年十月)……………	115
64	寺院名称取調べにつき赤坂役所より旗本陣屋宛廻状写(嘉永七年二月)……………	114
63	三河国ほかにおける金銀引替えにつき赤坂役所より触書写(文政四年九月)……………	111
62	御同国他藩での剣術修行などにつき拳母藩士宛仰せ渡し書写(万延元年十月)……………	110
61	赤羽根沖に異国船が渡来した際における田原藩の対応の記録(弘化三年六月から七月)……………	105
60	三河諸藩の加茂一揆への対応に関する田原藩の記録(天保七年九月から十一月)……………	100
59	御同国への用状送付方法に関する記録(文政十二年五月)……………	100
58	江戸での今切関所女手形発給申請を指示した刈谷藩三浦家の留書(享保二十一年三月)……………	99
57	刈谷藩による吉田藩への関所手形発給手続の記録(享保十四年五月)……………	98

第二章 個別支配の構造と特質

第一節 支配機構・家臣団

77	幕府領における年貢取納・役負担などに関する留書……………	130
76	八名郡吉川村再建案につき赤坂代官辻甚太郎守貞より幕府勘定所宛提案書写(寛政十一年六月)……………	127
75	伏見屋新田新堀割普請負担金滞りなく支払うにつき碧海郡米津村より証文下書(宝暦八年五月)……………	126
74	伏見屋新田新堀川築造につき赤坂および中泉代官より幕府勘定所宛提案書写(元禄十三年十二月)……………	124
73	矢作橋普請用材を平坂湊へ集荷する際における西尾藩の記録(抄)(宝暦十一年から同十二年)……………	122
72	矢作橋・吉田橋修復普請につき美濃笠松代官所より入札案内書写(享保十五年九月)……………	120
85	九久平陣屋旗本鈴木家代官菅沼作右衛門家老職就任に関する記録(文化五年四月)……………	143
84	岡崎藩役人の人事につき横目書付(寛政九年七月)……………	142
83	吉田藩松平家臣宛知行目録写(寛永六年六月)……………	141
82	九久平陣屋旗本鈴木家在所屋敷家政取締りにつき同家家来菅沼左司馬より上申書下書(戊辰八月)……………	139
81	武蔵岡部藩安部家家中定書につき藩主への伺書写(天明二年六月・十月)……………	137
80	寛政元年七月作成の「安家制度」見直しにつき武蔵岡部藩安部家家中宛通知書(文化四年十二月)……………	136
79	中宛仰せ渡し書写(天明八年正月)……………	134
78	西尾藩主三浦明次より家中宛定書写(宝暦六年九月)……………	134
77	一家中統制……………	134

86	九久平陣屋旗本鈴木家代官の諸手当等に関する記録 (「文政年間」)……………	145
87	領内廻村に際し鉄砲殺生を名目とするよう岡崎藩役人へ命じた際の記録(「天保六年十月」)……………	147
88	西郡陣屋交代寄合松平家宗門改役勤方の記録(抄) (「文久元年三月」)……………	148
89	三 江戸屋敷 形原陣屋旗本巨勢家江戸屋敷普請の進捗状況報告等につき書状(「文化四年」四月)……………	152
90	西尾藩江戸屋敷において常陸土浦藩主土屋彦直への端午の御内書を渡す際の記録(「文政十三年六月」)……………	157
91	挙母藩屋敷近辺の御使番屋敷より出火の際差障りの樹木伐採依頼につき問合せ書写(「弘化二年二月」)……………	158
92	江戸下屋敷替地受領につき西大平藩より老中牧野忠雅宛伺書写(「安政三年・同四年」)……………	159
93	拝領の吉田藩下屋敷由緒あるため返納につき山形藩主水野忠精より願書・回答書写(「慶応二年三月」)……………	160
94	江戸騒愛のため家中女子供ら上総へ立退きにつき西大平藩陣屋役人より書状(「慶応四年」四月)……………	160
95	四 江戸奉公人 江戸奉公人の国次金につき尾花陣屋旗本岡部家家来より陣屋役人宛書状(抄)(「文化九年」正月)……………	161
96	尾花陣屋旗本岡部家江戸奉公人召抱えにつき書状 (「文化十年閏十一月」)……………	161
97	九久平陣屋旗本鈴木家の江戸奉公人請状(「文政四年十一月」)……………	162
98	上総大多喜藩松平家の江戸中間奉公人請状 (「文政十一年十二月」)……………	162
99	西尾藩主松平成重室国元へ引越しにつき老中奉書 (「四月」)……………	164
100	奥殿藩松平家女中を国元より江戸屋敷まで送り届けるにつき請状(「宝暦七年十月」)……………	164
101	岡崎藩の女中扶持給金等諸入用帳(「天明三年五月」)……………	165
102	出府の老女への遣し物についての岡崎藩重臣による相談の記録(「天保十一年九月」)……………	168
103	江戸屋敷逗留中の九久平陣屋旗本鈴木家陣屋役人妹宛扶持米渡し状写(「天保十二年二月」)……………	168
104	岡崎藩女奉公人の給金に関する通知書写(「嘉永元年十月」)……………	168
105	岡崎藩於脩様の江戸入用書付……………	169
106	田原藩三宅家の奥向に関する規定書……………	169
107	吉田藩大河内松平家の奥勤めに関係する人名一覧……………	170
108	二 女奉公人 桜井陣屋旗本荒川家への女奉公人請状写(「明暦元年十二月」)……………	172
109	吉田藩江戸屋敷への女奉公人請状および親類書……………	173
110	吉田藩江戸屋敷女奉公人の暇願いおよび手当金受取書 (「天保十四年七月」)……………	173
111	三 結婚と出産 尾張藩重臣渡辺家家来松平家娘との婚姻仲介につき刈谷藩六戸より村上宛書状(「十一月」)……………	176
112	嫁引取りにつき刈谷藩医村上玄意より同忠順ら宛書状 (「十一月」)……………	177
113	上之郷陣屋旗本松平親明室懐妊につき入用金上納を求める領内村々宛通知書(抄)(「安政二年五月」)……………	178
114	上之郷陣屋旗本松平親明室懐妊につき入用金上納を求める領内村々宛通知書(抄)(「安政二年五月」)……………	178

第二節 武家の女性

一 奥とその運営

114 吉田藩大河内松平家における男子出生の記録 (抄) (慶応二年) …… 178

第三節 領知経営

一 触書

115 板倉勝重仕置定書 (慶長六年) 九月 …… 184  
 116 先代より人馬役免許につき西郡陣屋交代寄合松平家より町役人宛通知書写 (正徳三年四月) …… 184  
 117 代替りにつき諸法度等の遵守を求める竹谷陣屋旗本桑島政恒より定書写 (享保八年十二月) …… 185  
 118 九久平陣屋旗本鈴木家の定書写 (弘化二年七月) …… 185  
 119 駿河沼津藩代官廻村につき申渡し書写 (弘化四年三月) …… 190

二 陣屋の職務

120 菅沼作右衛門へ九久平陣屋旗本鈴木家陣屋代官任命につき職務申付け書 (享保四年六月) …… 191  
 121 旗本小笠原家の中島陣屋における職務手引書 (抄) (寛政九年八月) …… 191  
 122 武蔵岡部藩の陣屋における職務手引書 (寛政二年五月) …… 198  
 123 深溝陣屋旗本板倉家陣屋代官保管書類の請取書 (文化十三年十月) …… 203  
 124 九久平陣屋旗本鈴木家代官の職務遂行上の覚書 (天保二年九月) …… 207  
 125 岡崎藩の普請の手續に対する意見書 (三冊) …… 211  
 126 西尾藩の三河・越前領分における年貢徴収に関する留書 (抄) …… 212

三 領主と領民

127 松平清昌印判変更につき西郡陣屋交代寄合松平家陣屋役人宛通知書 (寛永十一年九月) …… 221  
 128 不作による年貢減免を認められるにつき惣庄屋より旗本中島与五郎家家来宛書付写 (万治四年二月) …… 221

129 上之郷陣屋旗本松平家代替りにより領民へ祝儀を遣わすにつき通知書 (明和七年十二月) …… 222  
 130 新城陣屋交代寄合菅沼定前の家督相続祝いとして天王祭礼で囃子したきにつき願書 (安永元年七月) …… 222

131 盆後まで江戸呼出しの延引を求める西端陣屋旗本本多家知行所村々より願書控 (天保十四年六月) …… 223  
 132 江戸での吟味谷救につき深溝陣屋旗本板倉家領民より願書 (嘉永四年五月) …… 224

133 上之郷陣屋旗本松平家知行所収納米等を小出三右衛門へ渡すにつき議定書 (嘉永四年五月) …… 224  
 134 深溝陣屋旗本板倉家への仕送り継続を関東領分と相談したきにつき三河領分より願書写 (嘉永七年) …… 225  
 135 九久平陣屋旗本鈴木家若殿番入りに伴う領民への祝儀受取りにつき村役人より請書 (安政七年二月) …… 226  
 136 仕法替えと勝手向き改革につき深溝陣屋旗本板倉家より村役人宛仰せ渡し書写 (正月) …… 227

137 旗本巨勢家形原陣屋役人による助郷に関する記録 (嘉永四年・文久三年) …… 228

第三章 領主財政と支配

第一節 領主財政

一 年貢収納

138 吉田藩大河内松平家の年貢収納高書上げ写 (正徳二年十一月) …… 232  
 139 吉田藩大河内松平家の年貢収納俵数書上げ (抄) (正徳二年より) …… 232  
 140 西尾藩大給松平家の年貢収納高書上げ写 (安政六年) …… 234  
 141 挙母藩内藤家の年貢収納高書上げ (卯十一月) …… 237  
 142 元挙母島の明治四年租税収納高書上帳控 (明治五年二月) …… 237  
 143 駿河沼津藩水野家の三河領分収納高書上げ (安政四年十二月) …… 241



187	矢作橋架橋または渡船の管轄替えを求める岡崎藩より幕府勘定奉行宛願書写(文久元年九月)……………	334
186	交代寄合菅沼家知行所新城下町大火の記録(安政七年正月・閏三月)……………	329
185	形原陣屋旗本巨勢家知行所における風水害状況と対処に関する記録(万延元年五月から同二年二月)……………	321
184	田原藩領内の大風・大雨による被害状況の報告書写(天保七年十月)……………	320
183	陸奥福島藩貝吹陣屋役人名倉家による洪水の記録(安永八年八月・寛政元年六月)……………	318
182	根崎陣屋旗本松平家知行所における国役普請実施を求める願書写(天明四年正月)……………	317
181	吉田藩領宝飯郡大塚村の高波と高潮による被害につき報告書写(安政二年七月)……………	315
180	安政地震による被災への対処法につき吉田藩士西岡介蔵より上申書(抄)(安政元年十二月)……………	310
179	安政地震による吉田藩領の被害に関する記録(嘉永七年十一月)……………	305
178	宝水地震による吉田藩領の被害に関する記録(宝永四年十月)……………	304
177	九久平陣屋旗本鈴木家より江戸へ送金につき為替証文写(安政七年正月)……………	303
176	碧海郡花園村寺田家による駿河沼津藩水野家御用達の記録(天保十二年四月)……………	299
175	上総大多喜藩松平家領分目分買い受けの切手米速やかに渡し願うにつき訴状写(文政九年十二月)……………	296
<b>第二節 災害・飢饉への対応</b>		
一 地震・風水害・火災		
195	貯穀を粃から米へ改めたきにつき西大平藩より幕府宛願書写(嘉永三年三月)……………	344
194	西尾藩義倉米仕法書(嘉永七年十一月)……………	343
193	義倉米仕法につき西尾藩賄方宛上申書写(五月)……………	342
192	田原藩義倉「報民倉」建設に関する記録(天保六年)……………	340
191	田原藩主三宅康直の窮民救済褒賞につき幕府より呼出し状および褒状写(天保九年八月)……………	340
190	田原藩主三宅康直が領内凶荒のため参勤延引を許可された際の記録(天保八年六月)……………	338
189	田原藩の津留政策の詳細につき同藩より岡崎藩郡奉行宛回答書写(天明三年十二月)……………	337
188	飢饉者への飯米給付に関する刈谷藩三浦家の記録(正徳四年二月から同五年四月)……………	335
<b>二 飢饉</b>		
201	將軍代替りにつき田原藩主三宅康保より起請文写(慶応三年三月)……………	381
200	八月初登城時の老中礼勅に関する問合せと回答の記録(文政七年十月)……………	380
199	吉田藩主松平信順大坂城代在任中の記録(天保二年七月)……………	357
198	挙母藩主内藤政優奏者番就任につき指示書写(天保十三年七月)……………	356
197	田原藩主三宅康直の西の丸見習役勤務記録(天保十二年十二月)……………	349
196	西尾藩主松平乗完老中在任中の勤役の記録……………	346
<b>第四章 幕府・朝廷と三河諸領主</b>		
第一節 幕政への関与		

第二節 江戸と国元

一 在府中の動き

202	吉田藩主松平信明在府時の記録〈安永十年・天明二年〉……………	383
203	田原藩主三宅康友の江戸城勤番の記録〈抄〉……………	385
204	松平康福岡崎藩主時代の記録抜書 〈宝暦十二年十二月から天明五年十一月〉……………	388
205	西郡陣屋交代寄合松平敬信の登城廻勤の記録 〈万延元年七月〉……………	408
206	息子の年始登城の首尾を喜ぶ田原藩主三宅康雄より同康徳宛書状〈享保十一年以前 正月〉……………	409
207	將軍綱吉上野参詣時の上屋敷詰めを褒める田原藩主三宅康雄より同康徳宛書状〈五月〉……………	410
208	宝永と改元のため登城につき田原藩主三宅康雄より同康徳宛書状〈宝永元年四月〉……………	411
209	御用のため屋敷の代地を下谷に下されるにつき田原藩主三宅康雄より同康徳宛書状〈宝永元年四月〉……………	411
210	宝永地震による諸大名の登城なきにつき田原藩主三宅康雄より同康徳宛書状〈宝永四年十二月〉……………	412
211	立坊・立后御祝儀のため登城につき田原藩主三宅康雄より同康徳宛書状〈宝永五年三月〉……………	412
212	水戸藩主徳川綱条逝去に伴う総登城につき田原藩主三宅康雄より同康徳宛書状〈享保三年九月〉……………	413
213	朝鮮通信使馳走役への任命なきことにつき田原藩主三宅康雄より同康徳宛書状〈享保三年十二月〉……………	413
214	紅葉山東照宮社参供奉などにつき田原藩主三宅康雄より同康徳宛書状〈五月〉……………	414
215	二 幕府役人の派遣 幕府役人の領内巡見における西尾藩三浦家の記録〈抄〉……………	415

三 居城

216	城石垣修復許可につき田原藩主三宅康雄宛老中連署奉書写 〈元禄十三年八月〉……………	421
217	地震による幕府への城の被害届け出につき田原藩主三宅康雄より同康徳宛書状〈享保三年八月〉……………	421
218	城石垣修復につき西尾藩主松平乗全より願書写 〈文久元年六月〉……………	422
219	城石垣修復許可につき西尾藩主松平乗全宛老中連署奉書写 〈文久元年六月〉……………	422
220	城石垣修復許可につき岡崎藩主本多忠典宛老中連署奉書 〈天明三年十一月〉……………	423
221	城石垣修復につき岡崎藩主本多忠民より願書写 〈慶応二年二月〉……………	423
222	城石垣修復につき岡崎藩主本多忠民宛老中連署奉書 〈慶応二年二月〉……………	423
223	田原城修復絵図〈正徳五年七月〉……………	424
224	西尾城修復絵図〈嘉永三年〉……………	425
225	吉田城修復絵図〈安政四年閏五月〉……………	426
<b>第三節 幕府勤役</b>		
一 参勤交代		
226	吉田藩松平家の参勤手続に関する記録 〈宝暦十四年・明和三年・同四年〉……………	427
227	病氣療養のため帰国繰り延べにつき拳母藩主内藤政俊より願書写〈天保六年七月〉……………	430
228	諸国領主参勤交代の組合せの記録〈天保十一年九月〉……………	431
229	岡崎藩主所替えに伴う参勤交代組合せ変更に関する西尾藩三浦家の記録〈宝暦十二年十月〉……………	432
230	桑名藩主病氣に伴い田原藩三宅家と伊勢亀山藩石川家の参勤……………	432

244	西大平藩主大岡忠愛参内図詞書（弘化三年八月）	453
243	後水尾天皇一条城行幸時における幕府による接待の記録（寛永三年九月）	451
242	知恩院宮尊起法親王寄付状（天保三年三月）	451
241	西大平藩主大岡忠移諸大夫成礼物につき千種前中納言家来ほかより請取書（寛政十二年二月）	450
240	西大平藩主大岡忠恒位記（明和三年十二月）	449
239	西郡陣屋交代寄合松平清昌諸大夫成礼物につき広橋大納言家来より受取書写（元和三年八月）	448
238	松平直幸が田原藩主三宅康武とともに日光祭礼奉行を勧めた際の記録（抄）（天明四年四月）	443
237	將軍綱吉増上寺仏殿参詣への供奉につき田原藩主三宅康雄より同康徳宛書状（元禄二年閏正月）	442
236	今切関所詰の吉田藩士の名簿（文化三年・同十一年八月）	440
235	前藩主死去に伴う今切関所手形発給方法問合せにつき岡崎藩より田原藩宛書状（寛政四年四月）	439
234	大坂加番任命への礼状に対する西丸老中松平乗保より拳母藩主内藤政成宛返礼状（文化十四年八月）	439
233	宛書状（慶応二年二月）	438
232	竹橋門番任命につき刈谷藩土井家留守居より信濃松代藩家中宛書状（元禄十年十二月）	438
231	吹上門番任命につき西郡陣屋交代寄合松平義堯宛大番頭連署状（元禄十年十二月）	438
	入替えに関する記録（天保二年三月）	433
	二 役と勤役	
	江戸城の石献上につき徳川秀忠御内書および老中土井利勝より松平清昌宛礼状（元和六年五月）	438

第五章 身分・格式と由緒

第一節 家の歴史

245	額田郡土呂村郷土松平甚助家の由緒書および奉公の願書（抄）（寛政七年十一月）	456
246	長沢松平家取立て経緯の記録	459
247	松平源七郎取立てにつき尾張藩付家老成瀬正住より老中阿部正弘宛願書写（嘉永元年八月）	461
248	長沢松平家取立てにつき美作津山藩主松平慶倫より願書写（安政六年五月）	462
249	長沢の地引き払いにつき旗本松平源七郎より願書写（安政六年十月）	462
250	大河内松平家家譜発端（享保十九年）	463
251	大河内松平家先祖の地に関する問合せにつき松平源七郎ほかより回答書（享保十八年）	464
252	上総大多喜藩大河内松平家の先祖由緒の地による三河の領知継続に関する記録	466
253	石見浜田藩松井松平家による十八竈と称される家臣の家筋に関する調査書（天明五年）	467
	二 幕府編纂事業への対応	
254	三河代官鈴木八右衛門家家譜（寛永十八年六月）	469
255	西郡陣屋交代寄合松平家家譜（寛永十八年）	470
256	新城陣屋交代寄合菅沼定実の履歴（寛政十一年十二月）	472
257	『寛政重修諸家譜』編纂時における岡崎藩本多家の系譜調査に関する記録（文化七年十二月）	475
	第二節 家政と家格	
	一 一家の存続	
258	西尾藩主土井利意の親類書（正徳三年十二月）	482

259	当分養子の許可を求める西郡陣屋交代寄合松平義峰より幕府老中宛願書控（明和二年七月）……………	484
260	挙母藩主内藤政文と彦根藩主井伊直弼との対面につき彦根藩城使より側役宛書状写（嘉永七年五月）……………	485
261	挙母藩主内藤政文との対面許可を求める彦根藩主井伊直弼より幕府宛願書写（嘉永七年七月）……………	486
262	家中統制につき田原藩前藩主三宅康高より藩主三宅康之・年寄らへの申渡し書写（宝暦五年八月）……………	486
263	形原陣屋旗本巨勢至親死去につき同家家来より陣屋役人宛書状（天明六年十一月）……………	488
264	長圓寺で執り行われた陸奥福島藩主板倉勝俊の葬儀に関する記録（天保十二年八月）……………	489
265	刈谷藩土井家の法要における代参および供物に関する規定書（天保八年八月）……………	500
266	三宅氏一族の寄合における取決め書写（文化五年四月）……………	503
267	西大平藩主大岡忠愛親類書（天保八年十二月）……………	504
268	二 家格 西郡陣屋交代寄合松平家の江戸城内における儀礼に関する記録……………	507
269	交代寄合松平郷松平家の家格につき江戸留守居より大目付宛回答書写（文政三年十月）……………	510
270	江戸城帝鑑間席座順（天保三年五月）……………	511
271	尾張藩使者への接遇に関する岡崎藩本多家の覚書（天保七年）……………	514
272	西大平藩大岡家における両敬・片敬一覽（慶応四年正月）……………	515
273	第三節 武士身分とその周辺 一 家臣の由緒と格式 岡崎藩本多家家臣都筑家の先祖につき口上書（寛政二年）八月……………	518
274	岡崎藩本多家家臣梶家家譜（抄）（文化元年九月）……………	521
275	林道休が本多家へ召し抱えられる経緯に関する記録（元禄十四年十月）……………	527
276	御目見の家臣はこれまで通り駕籠にて関所通行を許可する幕府より通達写（寛政三年七月）……………	529
277	岡崎藩本多家重臣中根・都筑・梶・河合・林家の家格に関する記録……………	529
278	本多家に付属した元御家人に対する幕府よりの系図調査に関する記録（文化元年九月）……………	530
279	武蔵岡部藩士の家督相続にあつての知行・扶持・切米等削減に関する定書写（抄）（天明二年九月）……………	534
280	武蔵岡部藩士の家督相続および召抱えに関する定書写（戊五月）……………	537
281	田原藩足輕山口甚平の由緒書写（享保十二年三月）……………	541
282	二 支配の末端をになう人々 本宿陣屋旗本柴田家陣屋役人富田家の先祖書写（天保三年八月）……………	542
283	苗字帯刀の取締りにつき額田郡石原村ほかより赤坂代官所宛請書控（寛延元年十一月）……………	546
284	給人格仰せ付けにつき新城陣屋交代寄合菅沼家より鈴木吉左衛門宛申渡し書（文化十三年十月）……………	547
285	同格の御用達への袴着用時の帯刀徹底を求める西尾藩御用達頭取衆宛願書控（午十月）……………	548
286	第六章 武士の生活・文化 第一節 年中行事 吉田藩の年中行事写（天保十三年十一月）……………	550
287	田原藩主在国中の年中行事……………	583
288	田原藩主在府中の年中行事……………	593

	289	岡崎藩本多家奥向における節供などに関する記録 （寛政十年六月）……………	596
		<b>第二節 規律と交際</b>	
		一 規律	
	290	岡崎藩士の心得書写（万延元年十二月）……………	604
	291	岡崎藩士の行事等における服装などの規定書写 （慶応二年十一月）……………	607
	292	士道の嗜み・心懸けにつき西尾藩達書（西十一月）……………	610
		二 贈答	
	293	刈谷藩主土井家よりの將軍家・尾張徳川家等への献上品などの記録……………	610
	294	拳母藩主内藤字文から將軍と世子への献上品添状および返礼状写（安永二年八月・九月）……………	615
	295	国元では入手できない品送付につき江戸の三宅康直より田原藩主同康保宛書状（安政五年十二月）……………	616
		三 接待	
	296	田原藩江戸屋敷における尾張藩主および水戸藩主への接待の記録（天保七年二月）……………	617
	297	酒井忠頭らの接待につき田原藩前藩主三宅康直より藩主同康保宛書状（安政四年八月）……………	621
		四 道具	
	298	吉田藩松平家所持の道具の由緒書（明和五年十一月）……………	624
		<b>第三節 藩校</b>	
	299	田原藩藩校成章館教授への褒賞の記録（天保二年正月）……………	628
	300	田原藩藩校成章館での芸事奨励に関する記録 （天保十五年九月・十二月）……………	630
		<b>第四節 生活</b>	
		一 暮らし	
	301	岡崎城内における年末年始の給仕の記録 （寛政八年十二月から同九年正月）……………	631
	302	駿河沼津藩江戸屋敷へ到着の様子を知らせる同藩士より御用達ら宛書状（十一月）……………	633
	303	江戸での暮らしぶりを伝える刈谷藩医村上玄意より書状 （正月・三月）……………	636
	304	借入金返済につき吉田藩重臣より同藩御用達宛買物の道具類受取書（享和三年三月）……………	639
	305	刈谷藩士出奔により久離を求める諸親類一同より願書写 （安政二年九月）……………	639
	306	尾張藩重臣渡辺半藏家家来渥美郡福島新田を東本願寺へ献納につき吉田藩宛届書写（安政四年四月）……………	640
	307	刈谷に入封した三浦家家臣への住居宛がいに関する記録 （正徳三年二月から五月）……………	640
		二 武芸	
	308	稽古奨励につき西尾藩松平家家中宛通知書……………	643
	309	山本勘助流兵学伝授につき岡崎藩士より起請文前書 （天明六年三月）……………	643
	310	竹林流および大和流岡崎藩士門弟による江戸での百射の記録 （文政八年二月・三月）……………	644
	311	西大平藩大岡家の弓術指南書……………	648
		三 芸能	
	312	茶道伝授につき刈谷藩主土井利以より同藩宍戸隆喜宛書状 （十一月）……………	648
	313	金剛流能の稽古につき田原藩前藩主三宅康直より藩主同康保宛書状（安政四年八月）……………	650
	314	写真返却と硝酸銀製法教示につき松平敬信より田原藩主三宅康保宛書状（元治元年）九月……………	651

315	写真返却につき西郡陣屋交代寄合松平敬信より田原藩主三宅康保宛書状(元治元年)十月……………	651	327	近江水口藩主加藤明照からの本尊宮殿寄付を許可につき本山より本證寺宛通知書(宝暦十一年十月)……………	673
316	硝酸と硫酸の分量尋ねにつき交代寄合松平敬信より田原藩主三宅康保宛書状(元治元年)十月……………	652	328	近江水口藩主加藤明照寄付の本尊宮殿に関する本證寺の記録(文化十一年から同十三年)……………	673
317	硝酸銀製法書送付の札等につき交代寄合松平敬信より田原藩主三宅康保宛書状(元治元年)十月……………	652	329	葬所が判明した家祖信孝の回向依頼につき旗本松平忠敷家来より浄珠院宛書状(寛政十一年三月)……………	680
<b>第七章 寺社と領主</b>			330	供養料につき浄珠院より旗本松平忠敷家来宛受取書写(寛政十一年三月)……………	681
<b>第一節 武家の菩提寺</b>			331	毎年家祖信孝の回向実施を依頼につき旗本松平忠敷より浄珠院宛書状(寛政十一年三月)……………	681
一 徳川氏の菩提寺			332	先祖元俊妻の法号など問合せにつき旗本上田清右衛門から浄珠院宛書状(天保六年)閏七月……………	682
318	松平忠吉墓守加藤三十郎黒印状を尾張藩へ差し出す際の隣松寺の記録(抄)(文政十年から同十二年)……………	654	333	足助香積寺への祖先回向依頼および代拝に関する尾張藩成瀬家の記録(抄)(文化四年より)……………	683
319	徳川義直黒印状を尾張藩へ差上げにつき隣松寺より口上書写(天保四年十二月)……………	661	<b>第二節 地域秩序と寺社</b>		
320	松平忠吉ほかの廟所補修につき公儀普請並を求める隣松寺より尾張藩宛願書写(天保五年二月)……………	662	一 秩序の模索と形成		
321	肥前小城藩主鍋島直堯による大樹寺参拝の記録(抄)(天保五年五月)……………	663	334	三州奥郡における寺社への朱印状発給につき伊奈忠次より田原藩重臣宛届書(慶長六年八月)……………	687
322	徳川遠祖廟所修復料への援助を求める称名寺より駿河沼津藩水野家宛願書写(弘化二年)……………	668	335	甘泉寺領につき作手藩山田清大夫・黒谷弥兵衛連署状(慶長十一年三月)……………	687
二 諸武家の菩提寺			336	御上洛につき出仕を求める石川家成より三河真宗寺院宛書状写(慶長十一年以前)四月……………	687
323	八幡宮へ家康像奉納につき中野了照より寺部采女正宛添状写(貞享二年五月)……………	669	337	松平広忠判物あるにより浄妙寺の道場屋敷に相違なきにつき石川家成より書状(慶長十二年十二月)……………	688
324	備後福山藩水野家断絶につき菩提寺泉龍寺の存続を願う同寺より西明寺宛書状(元禄十一年七月)……………	670	338	浄妙寺屋敷のこと申し上げ済みにつき石川家成より本多某宛書状(慶長十二年十二月)……………	688
325	備後福山藩水野家断絶につき存続困難のため出勤を断る泉龍寺より西明寺宛書状(元禄十二年三月)……………	671	339	新城領内の朱印を望む寺院の石高・判物報告につき佐藤三右衛門ほか連署状写(慶長十二年十二月)……………	689
326	丹波亀山藩土黒柳家の先祖書による藩主形原松平家の菩提寺に関する記録(明和二年二月)……………	672	340	三河から上方までの曹洞宗門徒改めにつき板倉勝重より本光寺隠居宛書状(慶長十八年六月)……………	689



370	永平寺大禪師東海道通行につき宗祖報恩の吉祥講を結ぶよう可睡斎より通知書(天保十一年五月)……………	726
371	末寺の繪旨等取扱い不行届を廻る訴訟内済を求める拳母藩より大樹寺宛願書写(天保十五年五月)……………	727
372	伊勢神宮へ献上の蝦夷国産米分配につき羽田野敬雄より草鹿砥宣隆宛書状(安政四年四月)……………	728
373	東本願寺類焼再建に尽力した達如の寿像頂戴を指示する三河門徒宛廻状写(万延元年正月)……………	729
374	隣松寺紫衣昇進断りにつき碧海郡駕鴨村庄兵衛より在京同村神主宛書状写(二月)……………	731
375	二 近江永源寺の三河甘泉寺支配 甘泉寺の本寺が永源寺となるに至る訴訟一件記録 (承応四年正月・同年二月・明暦元年十二月)……………	732
376	先住遣い込みへの対応などにつき永源寺よりの指示に対する甘泉寺玉翠ら請書写(明和八年十月)……………	735
377	玉翠一件につき玉翠の更迭を求める檀方七か村より永源寺宛願書写(安永五年正月)……………	736
378	玉翠一件における玉翠への支援および更迭願書取下げに関する記録(安永五年から同六年)……………	737
379	玉翠一件につき更迭願書の返却を廻る二川陣屋と永源寺との折衝に関する記録(安永七年四月)……………	742
380	玉翠一件につき玉翠処分許可を求める願書と玉翠の不行状に関する記録(安永七年八月から十月)……………	744
381	玉翠一件につき永源寺参内停止および幕府裁決による玉翠退院の記録(安永七年十月から十二月)……………	747
382	相月院が慈昌院大黒講落札金を本山へ虚偽報告につき詫び証文写(天保十年四月)……………	750
383	相月院兼帯による不行届につき慈昌院大心より本庵宛詫び証文写(天保十年十二月)……………	750
384	相月院貸付証文を大黒講落札金預り証文と入替えにつき慈昌院大心供述書写(天保十二年閏正月)……………	751
385	385 相月院証文入替え一件につき市場村定十郎を取り調べた永源寺出役の記録(抄)(天保十二年三月)……………	752
386	386 相月院証文入替え一件吟味につき永源寺出役瑞巖の記録(抄)(天保十二年三月)……………	753
<b>第八章 幕末維新と三河諸領主</b>		
<b>第一節 幕末維新の動乱と三河諸領主</b>		
一 異国船への対応		
387	387 海岸広場における大砲使用許可を求める田原藩より幕府宛内願書写(天保八年十一月)……………	764
388	388 異国船渡来による田原・吉田藩からの加勢依頼に対する岡崎藩の対応の記録(弘化三年六月)……………	765
389	389 アメリカ大統領よりの国書の内容に対する吉田藩主松平信古の意見書写(嘉永六年七月)……………	766
390	390 異国船渡来に伴う軍用金賦課につき深溝陣屋旗本板倉家領民より請書写(嘉永六年七月)……………	767
391	391 異国船渡来に伴う人員徴発につき九久平陣屋旗本鈴木家通知下書および請書写(嘉永七年二月)……………	769
392	392 講武所見学にあたっての留意事項につき若年寄らより通知書写(安政四年閏五月)……………	770
393	393 大砲鑄造方法問合せにつき西大平藩役人より割元宛書状(文久三年四月・六月)……………	771
394	394 海岸防備のため西大平藩へ大砲献上につき同藩御用達格より願書写(文久三年十二月)……………	772
395	395 大砲献上願うにより西大平藩御用達格へ一代帯刀免許につき割元宛書状(文久三年十二月)……………	773
396	396 西大平藩へ小銃献上につき同藩割元より願書写(文久三年十二月)……………	773
二 戊辰戦争と王政復古		
397	397 刈谷藩重臣浜田与四郎朝命に応じて藩主上京を建言につき沢健次郎より書状(慶応三年十二月)……………	774

第二節 明治政府と三河諸領主  
一 所領替えと三河定住

398	尾張藩より受取の書付類を順達につき吉田藩より三河諸藩宛書状写(慶応四年正月)……………	774	412	家族の三河定住を求める長沢陣屋旗本巨勢利国より願書写(慶応四年三月)……………	832
399	江戸下向の官軍が岡崎を通行する際の対応につき岡崎藩より幕府宛伺書写(慶応四年正月)……………	775	413	分家大河内家の赦免を求めるにつき吉田藩大河内信古より三河裁判所宛願書写(慶応四年八月)……………	832
400	廻達地域の指示を求める三河五藩より尾張藩宛伺書および分担書上げ写(慶応四年三月)……………	776	414	三河国内の旗本知行所の安堵を求める建言書雛形(明治元年十一月)……………	834
401	王政復古につき岡崎藩本多家家中一同勤王の旨仰せ渡し書写(慶応四年四月)……………	777	415	三河国内の大名・旗本の所替えに関する情報を伝える書状(明治元年十一月)……………	835
402	戊辰戦争における刈谷藩出兵に関する記録(慶応四年四月から十月)……………	779	416	遠江の藩領の上総への所替えに対し近江への所替えを求める吉田藩より願書写(明治元年十一月)……………	836
403	新政府下の在京孝母藩士による留書(慶応四年八月)……………	784	417	上之郷陣屋旗本松平家の知行替え撤回を求める領民より願書(明治元年十二月・同二年正月)……………	836
	三 勤王誘引への対応		418	転封に伴う移転の延引を求める陸奥福島藩より建言書写(明治二年三月)……………	839
404	田原藩より尾張藩へ差し出した勤王証書に関する記録(慶応四年正月)……………	787	419	孝母藩在府藩士の江戸引き払い遅延につき届書写(明治二年四月)……………	839
405	岡崎藩主本多忠民の勤王証書(慶応四年二月から四月)……………	789	420	隠居および帰農につき旗本鈴木家九久平陣屋役人より願書下書(明治二年八月)……………	840
406	九久平陣屋旗本鈴木家より尾張藩へ差し出した勤王証書に関する記録(慶応四年)……………	790		二 明治政府への対応と版籍奉還	
407	上之郷陣屋旗本松平家より尾張藩へ差し出した勤王証書に関する記録(慶応四年二月・三月)……………	795	421	版籍奉還の執奏につき半原藩より願書控(明治二年四月)……………	841
408	武蔵岡部藩勤王方となるにつき同藩重臣らより請書写(慶応四年二月)……………	796	422	版籍奉還等の下間につき田原藩主三宅康保より建言書写(明治二年五月から七月)……………	842
	四 尾張藩の記録にみる三河の動向		423	版籍奉還等の下間につき西大平藩主大岡忠敬より建言書写(明治二年五月・七月)……………	843
409	「待賓館御用留」にみる三河諸領主の動静(慶応四年)……………	797	424	国事諮詢への建言を求める通達を通知につき名古屋藩より三河諸藩宛廻状写(明治四年七月)……………	846
410	「徳川義宜家記」における勤王誘引に関する記事(慶応四年)……………	819	425	半原県東京官邸の拝領および払い下げに関する記録(明治四年八月)……………	846
411	三河諸領主に対する尾張藩の勤王誘引に関する記事(慶応四年)……………	831		三 明治初期の三河諸藩政	
			426	調査書に関する田原藩より弁官役所への伺いと回答の記録(明治二年八月)……………	848

427	職制改正に伴う職務につき上総菊間藩より伺書写 （明治二年九月）……………	851
428	制度改正につき田原藩より弁官役所宛報告書写 （明治二年十月・十一月）……………	851
429	儀式等は従来通りの座順で行いたきにつき岡崎藩重臣より願 書写（明治二年十二月）……………	853
430	従前の俸禄に応じた減禄を求める岡崎藩士より願書写 （明治二年十二月）……………	853
431	重原藩職制改正の草案（明治二年）……………	854
432	拳母藩における提灯・陣笠および官員給与に関する規定書 （明治三年正月）……………	860
433	半原藩士族等の月給取調帳（明治三年）……………	863
434	三河諸藩の士族・卒族の処遇に関する記録 （明治三年・同四年）……………	865
435	西尾藩藩勢一覧（抄）（明治四年）……………	870